



ザイサンの丘から市内遠望

- ノミンテパートでお土産購入。スリに注意。
- 19:00 夕食
フクライナ料理 サラダ、鶏肉、そば料理、ケーキに紅茶などボリュームとて大。店内は大賑わい。ホテルへ帰り、エギーさんの紹介でロシア製のキャピラ購入。
- 21:00 バブで二次会
生演奏を聞きながらハンブロイで乾杯。唐突に日本モンゴル親善協会の横沢会長と会う。ステージでは生演奏が続ぎ、日本人観光客のためにと女性ツインボーカルが「キロク」を歌うモンゴル最後の夜を堪能。
- 23:00 就寝
- 6月14日(土) 晴れ時々曇り
4:00 起床。眠い。
5:00 ホテル出発。
5:20 テンギス・ハーン空港着。
エギーさんとポルトさんと硬い握手。これまでの感謝をしてお別れ。
免税店で朝青龍と会う。(驚き悪!)
6:45 搭乗。M-ATモンゴル航空OM501便 成田着12:30予定。

- 以後、出発ロビーにてひたすら特機。日本語のアナウンスがないから不安。日本人同士、情報交換。しかし、確実な情報がなかなか得られない。
インターネットで同日朝、宮城岩手で地震があったことを知る。不安は高まるばかり。お昼すぎ、23時の搭乗、01時出発だと知る。18時間の遅延。
「出発ロビーを出る」と追い出される。無愛想な態度に唖然。
13:30 ガイド・エギーさんと再会。
ポルトさんも一掃。早速、車に乗り込む。携帯でしきりに連絡を取るエギーさん。チンギス・ハーンホテルを手配。ベッドの上で休めるのが本当に有り難い。感謝。
- 20:00 夕食
「金の豚」というラーメン屋。チャーハン・餃子・ラーメンのフルコース。なかなかうまい。ビールと焼酎が進む。
- 22:00 再び空港へ。出国手続き開始を待つ。
- 23:00 出国手続き開始。再び、エギーさん、ポルトさんと固い握手を交わし、今度は本当にお別れ。ポルトさんの確実な運転に、たとえ悪路でも爆睡できた。エギーさんはトラブルの際、手際よく、頼もしく私たちに安心を与えてくれた。二人のおかげで最高の旅となった。本当にありがとう!!!
「マツシイフバイアルラー!!!」
01:00 離陸。機体が小さいから座席が狭い。
06:40 着く。成田空港へ着陸。
08:00 朝食。空港内のレストラン。キレイな盛り付け、そして丁寧な接客。日本に帰ってきたと実感。
08:52 成田エクスプレス乗車。
10:30 長野新幹線に全員乗車。

山越団長の「発声により、アサヒビールで乾杯。解団式。」

今回のメンバーはみな「トラブルを楽しめる」という明るさと夕方を備え持っていた。おかげで思い出に残る良い旅であった。みなさん、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとう!!
サンバインノ、トクトーイ、バイアルラー!!!

さあ、未知の国モンゴルへ

山越 敏雄
長野県労働金庫

6月9日15時00分、団員7名、成田空港へ。それぞれの交通手段で現れた団員は、未知の国に対する期待と不安にかられながらも、時間正確に全員集合。団員ではないがNTT松本分会のA氏も、モンゴルへ煤を採集するため機内まで同行された。うらやましい限りである。
機内では、モンゴル人と思われるキャビンアテンダントが嬌爽と歩き回っていた。日本語なまり(?)の英語も何とか通じた。

私自身、何回か飛行機に乗ったことはあるが、こんなに揺れた経験はなかった。飛行機全体がガタガタと音を立てていた。映画(結構新しい映画をやっていた)を見て何とか気がしないようにしていた。
ウランバートルのチンギスハーン空港には夜10時すぎ到着。日本との時差はたったの1時間であり、まったく時差は感じない。ただ、入国審査は韓国からの乗客と一緒にになり、結構待たされた。(入国審査の管理官はまったく愛想がない。日本への帰国時と同様で、日本人の接遇を学ぶべきだ)
空港ロビー到着後、すぐ通訳のエギーさんを発見(画用紙に大きく「長野県モンゴル親善協会」の文字を書いて持って

いてくれた。)、ベントツのワゴン車でホテルへ直行となった。

「お湯が出なかった」の事を聞いていたので、不安があったが、ミツシエルホテルはごく普通のホテルの印象。お湯もすぐに出てゆつくりシャワーを浴びることができホッとしました。
ホテル到着後、これからの旅行の無事を祈って乾杯。明日からの未知の体験を楽しみに消灯。ぐっすり眠ることができた。



乗馬風景

大モンゴルの

壮大な大地のなかで...

加藤 茂
情報労連 (NTT労組)

ザワザワと外でなにやら話し声、ここは何処だ? そうだ、首都ウランバートルから250km、ウンドゥルシレット村、リバーサイドキャンプのゲルの中だ。
天窓から微かな月明かり。スバラシイネーの声に誘われて、ポケットの懐中電灯片手に、のこのことゲルの外へ、ゴツン! 出口のドア枠(高さ170cm位)に頭をぶつけて目が覚める。
満天の星空? 少々曇りあり。思わず見上げて「らんらん」夜の11時星を「らんらん」と口ずさみながら、見上げる。幼い頃に見たあの星空。最近星なんて見ないな。誰かが、あれが北斗七星だよな。ジャあれば... 南の方向にあったひと